



皆さまの
活動の
羅針盤

もちづき
望月
こうとく

立憲民主党
横浜市議員(都筑区)

2023年2月号
2023年2月5日発行

通信

望月こうとく 政務活動事務所

〒224-0003 横浜市都筑区中川中央1-24-17-201

TEL & FAX:045-532-9089 E-mail:info@khotoku.net

望月 高德

検索

<https://www.khotoku.net/profile/>



政治への市民の信頼を大切に、ビジョンを持って市民とともに未来を切り拓く

政治は、関心があるなしにかかわらず、誰もが無関係ではられません。政治は、皆さまからお預かりしている大切なお金(税金)をいかに使い活かしていくか決める場。それは市民の生活に直結。

そして議会は、市民の代表者が集い政治を実践する場。

だからこそ望月は、**市民との信頼関係を何より優先**。そして出来ることから一歩ずつ実現。着実に成果としてきました。**全ての市民の代弁者として、横浜の未来を見据えた市政の推進と都筑の街づくりを継続します!**

議員としてできることは、率先垂範

議員になる前から政治活動で見直しを訴え、実現または実行してきたこと

費用弁償(交通費のような手当)

望月の対応 月額1万2千円の当時(2006年1月時点)に見直しを訴える。

その後、一旦手当廃止に。2013年に月額1千円~3千円[区ごとに異なります]で復活してからは、金額に合理性を欠くので、**受け取り辞退継続中。**

政務活動費

望月の対応 以前は、非公開だった政務活動費[当時の名称は政務調査費]の領収書の公開を求める。現在は、公開され閲覧可能に。2023年度分から公開方法を、インターネットも活用しさらに改善の見込み。

望月の目指す政治

全ての市民(国民)の**生命と財産を守り、誰もが安心して暮らしていける社会**を作る

真面目に真っ当に暮らす人たちの**努力が報われる社会**を作る

社会全体で手を差し伸べるべき人、**社会的弱者に目配りし、必要な支援を届ける**

PROFILE



もちづき こうとく

望月高德

プロフィール

1965年7月10日、静岡県富士市は富士山麓の兼業農家の8人兄弟姉妹の末っ子として生まれる。早稲田大学政治経済学部政治学科卒。大学卒業時に(株)野村総合研究所社員となるも、政治を正す思い強く同社を早期退社。学習塾経営や専門学校講師などを務めながら、1999年より政治活動を開始。地方選挙5度目の挑戦で、2011年4月に横浜市議員に初当選。連続当選し現在3期目。2023年2月時点で横浜在住34年目。

- ◆皆さまの声を“活動の羅針盤”として、既得権に縛られず市民に信頼される政治の確立を目指して活動中。
- ◆『市民の命と暮らしを守る』を第一に、今だけでなく将来世代に対しても責任ある財政運営の下、地域の安心・安全の向上と暮らしやすい街づくりのために全力投球!
- ◆政治信条『公正、共生、寛容』
- ◆政治を志した原点『学生時代の新聞奨学生経験』
- ◆好きな言葉『感謝』



政治の最大の役目は、いつでも皆が安心し、心豊かに暮らしていける社会の実現

まずは的確な施策の優先順位付に基づく、ムダのない効率的かつ持続可能な行財政運営の確立。

その上で、減災・防災、コロナ対策などの市民の命と暮らしを守る対策の底上げ。

子育て世代・働く世代応援施策の充実もいま必要なこと。**小児医療費助成の拡充(中学3年生までの所得制限や一部負担金を撤廃)の早期実現を求めてきたことは、過去の私の市政レポートでご報告してきた通り。この点は、今夏にも実現するメドが立ちました。**

問題はここから。出産、育児、教育、働くこと。更には介護を必要とする高齢者や障がいのある方がいる家庭への支援を含め、総合的かつ一貫した支援施策とすること。

同時に、バラマキ、ツギハギ施策とならないよう市の実施している現状の支援施策全般を、再評価、再構築して、ムダ、ムリのない効果的かつ効率的で、持続的な子育て世代、働く世代応援施策としていく。

また地域交通の確保や独居高齢者の見守り対策など、高齢化時代を踏まえた街づくりも引き続き充実を求めます。

行政手続きのオンライン化や簡素化を進め、市民の行政へのアクセス時の利便性を向上させる。またDX戦略の推進など、時代に合った必要な施策や事業の導入や拡充を積極的に行う。

障がいのある方の社会参加の促進の課題も忘れてはなりません。

カーボンニュートラル、さらには脱炭素へと環境を考慮した施策の展開も今求められること。

都筑の街づくりについては、地域住民のお声を聞きながら、地域ごと、地区ごとの実情に合わせた土地活用による区内全体の街づくりの推進。

その前段階として傷みが目立つ舗道や管理が行き届いてない街路樹など、公共空間の計画的な再整備も、適宜求めています。

山中市長に求めていること

私は、山中市長が誕生した令和3年8月以降、議会の場で市長に直接問いただす機会が、2回(令和3年10月6日総合審査、令和4年12月9日一般質問)ありました。

そうした公の場やその他の機会を利用し、山中市長(山中市政)に以下の、視点で施策や事業の実現や拡充を求めています。



答弁する市長

令和3年10月6日
総合審査で市長に質す



持続可能な行財政運営



高齢化時代を見据えた街づくりと施策展開



生命や健康そして財産を守る施策の最優先



市民生活の利便性向上や横浜の成長につながる施策推進



横浜版の総合的な少子化対策の実施



住民自治の実践